

新ダイビル

1,000坪の緑地「堂島の杜」と大庇を持つ環境親和型ランドマークビル

- 所在地：大阪市北区堂島浜1丁目
- 用途：事務所、店舗
- 敷地面積：8,426.76㎡
- 建築面積：3,084.38㎡
- 延べ面積：77,388.49㎡
- 構造：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造
- 階数：地上31階、地下2階
- CASBEE評価：Sランク／BEE値3.5
- 重点評価：CO₂削減4.0／省エネ対策4.0
みどり・ヒートアイランド対策4.0



緑豊かな「堂島の杜」と、空中に積層された石張りの大庇
深い庇を主要モチーフとすることで、環境配慮の姿勢を外観にも表している

【立地、周辺環境】

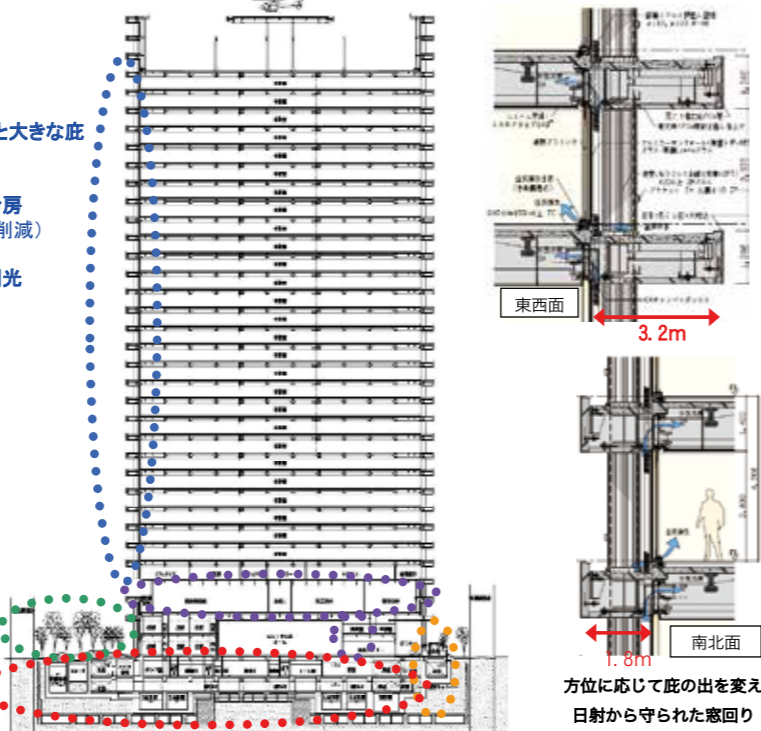
堂島川の北岸で、日本銀行大阪支店と川を挟んで向かい合う立地にある。
目の前には堂島川の水面と中之島の緑が広がり、オフィスフロアからは水都・大阪を象徴するパノラマビューを望むことができる。
北側には北新地・梅田地区が広がり、西側にはホテルが隣接する。

【総合的なコンセプト】

- 横基調の優美な外観と大規模な屋上樹苑によって永く親しまれた旧・新ダイビルの建て替えに当たり、旧ビルの持っていた価値を現代に継承することをテーマに、豊かな眺望と緑に包まれ、自然と一体化した、高い快適性と先進性が融合するオフィスビルを目指した。
- 屋上緑化の先駆けである旧ビル屋上樹苑を継承し、ビル足元に1,000坪の緑地「堂島の杜」を計画。旧樹苑より一部の樹木を移植。
- 基準階オフィスフロアはアウトフレームとし、内部に柱の一切ない使い勝手の良い内部空間とした。また、空調負荷を抑制しつつ恵まれた眺望をブラインドレスで最大限享受できるように、南北1.8m、東西3.2mの出を持つ大庇を設け、省エネルギーとオフィスの快適性を実現している。

建物断面構成図

- 高効率熱源システム
(超高効率機種の採用)
- エネルギー情報提供システム
(WEBによる確認)
- 水の再利用
(雨水再利用)
- 大温度差送水システム
(ポンプ動力削減)
- 低温送風システム
(ファン動力削減)
- 外気量制御
(CO₂制御による外気量適正化)
- 1,000坪の緑化計画
(ヒートアイランド抑制)
- 建設材料の再利用
(既存地下躯体利用による廃棄物抑制)
- Low-Eペアガラスと大きな庇
(熱負荷削減)
- 自然換気と外気冷房
(空調エネルギー削減)
- 自然採光と自動調光
(照明電力削減)



方位に応じて庇の出を変え
日射から守られた窓回り

環境配慮事項とねらい



重厚な石張りの外装は川を挟んだ中之島の建築物件と呼应し、横基調のデザインは隣接する堂島ダイビル(ANAクラウンプラザホテル大阪)と呼应する。ビルとしてのアイデンティティを表しつつ、周辺環境との連続性を意識した外観とした。



豊かな緑に囲まれたビルへのアプローチ。
敷地四隅には旧ビル外壁に設置されていた羊の彫像を移設・保存し、訪れる人を出迎えるモニュメントとして再生した。

- 堂島川に沿い伸びやかに大庇が積層する環境親和型ランドマークビル
 - ・環境負荷を軽減する石貼りの力強い大庇の存在感をアピールした外観計画
 - ・庇は窓清掃にも利用され維持管理のしやすさにも貢献
 - ・川沿いに水平方向に展開する豊かな眺望に呼应する横連窓のデザイン
 - ・堂島川に対して伸びやかに開いた旧ビルの横基調イメージも継承

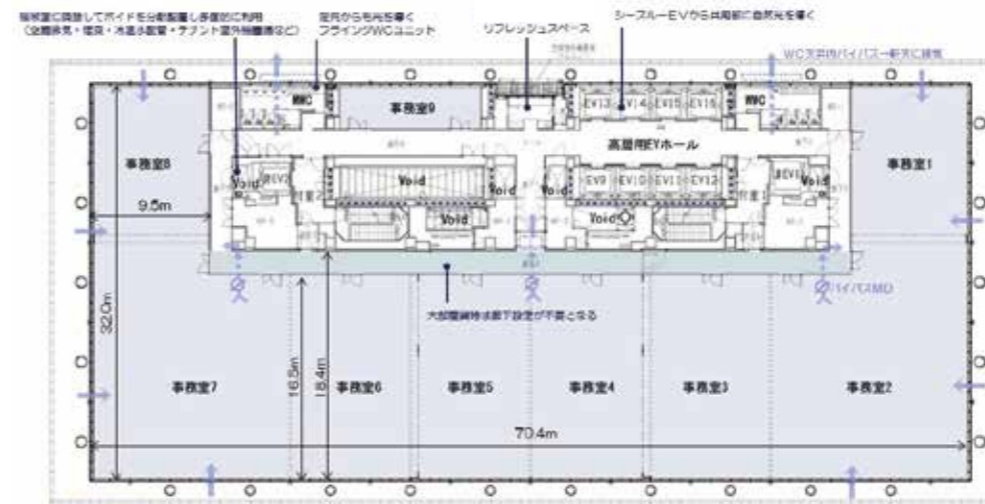


旧・新ダイビルの外観。永く親しまれた横基調の外観を踏襲
深い庇で日射から守られたフルハイトの窓から、中之島・御堂筋をプラインドレスで俯瞰する。

- 旧ビル屋上樹苑を継承した広大な1,000坪の緑地空間「堂島の杜」
 - ・ビル緑化の先駆けである旧ビル屋上樹苑を継承し、足元に広大な安らぎの森を創出
 - ・季節感あふれる木立や水景を巡る遊歩道空間の演出で都心のオアシスを実現
 - ・エントランスは透明感ある構成とし、緑に包まれた空間として堂島の杜との一体感を演出
 - ・旧ビルから一部の樹木を移植し、JHEP認証制度で最高ランクAAAを取得



水景や岩組・樹苑をめぐる遊歩道やベンチなど、自然を感じ、安らげるスポットを随所に配置した。



- 恵まれた眺望を最大限に享受する、開放的かつフレキシブルなオフィス
 - ・アウトフレームとして柱のない整形プランでフレキシビリティを向上
 - ・室毎8台の空調機と最小単位20㎡のVAVによるきめ細かな空調制御
 - ・共用部から機器メンテ・更新が可能
- 自然の恵みをフルに活かし効率化も徹底した環境共生ビル
 - ・庇空間を活かした自然採光、自然換気、外気冷房(6.5回/h)、雨水利用など自然の恵みを活用
 - ・庇による直達日射の抑制、Low-Eガラス採用などによりPAL値：228MJ/m²年を達成

- 徹底した省エネによる環境配慮
 - ・超高効率熱源、排熱利用熱源を採用した熱源システムと省エネを確実にする小負荷運転対応制御
 - ・水熱源冷凍機の採用によりヒートアイランド防止に貢献
 - ・ポンプ、空調機の総インバータ化によるモータ動力削減
 - ・室内CO₂濃度制御による取入外気の空調負荷低減
 - ・3.2mモジュール単位でのLED照明点滅制御と昼光センサー採用
 - ・エネルギー見える化を支援する電力量・熱量計測
 - ・上記の他に総合的取り組みの結果、ERR値：49.4%を達成
- 人とビジネスを守る防災・BCP対策
 - ・停電時にテナントに電源を供給する非常用発電機(15VA/m²×3日間)
 - ・災害後もWC利用可能とし、災害後の復旧活動を支援。(雑用水槽・緊急排水槽の容量確保、衛生器具への発電機電源)

